県立学校の施設整備及び修学支援の充実

令和8年11月

兵庫県教育委員会事務局
財務課

目　次

Ⅰ　令和8年度施策体系表・・・

Ⅰ　令和８年度施策体系表

兵庫が育む　こころ豊かで自立する人づくり
～「『絆』を深め、『在りたい未来』を創造する力」の育成～

安心・安全で質の高い学びを実現する教育環境の整備・充実

- 修学環境の整備・充実
  - 県立学校の施設整備
  - 修学支援の充実

Ⅱ　県立学校の施設整備

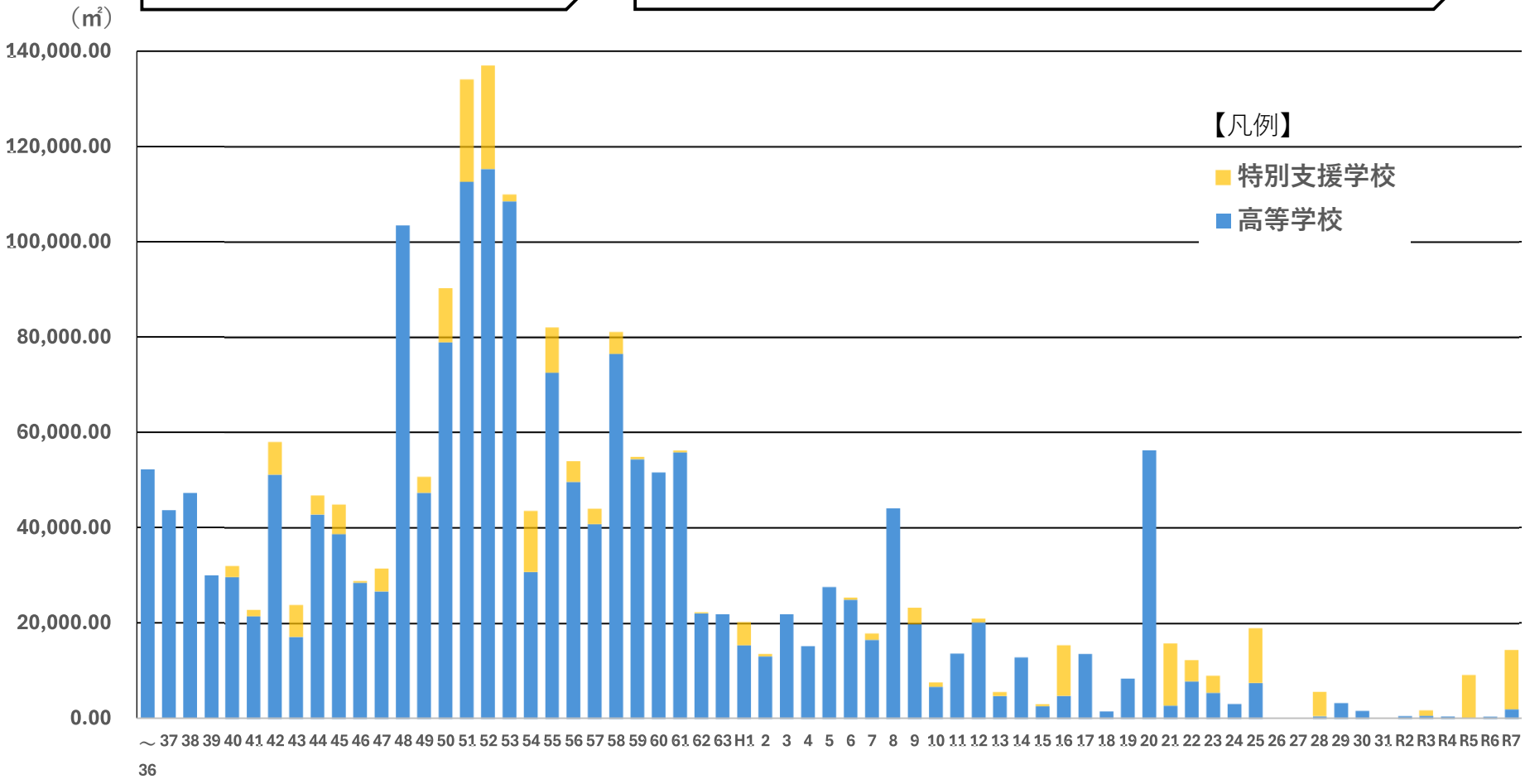
(1) 県立学校施設の現況

①県立学校施設の建築年度別保有面積　（令和８年９月１日現在）

□昭和40～50年代の生徒急増期への対応、養護学校設置の義務制実施等により学校施設を多数建築
□築後40年を経過している学校施設の保有面積が約７割を占め、施設・設備の両面で老朽化が進行

築40年以上（S60年以前）
1,498千㎡（72.6％）

築40年未満（S61年以降）
566千㎡（27.4％）

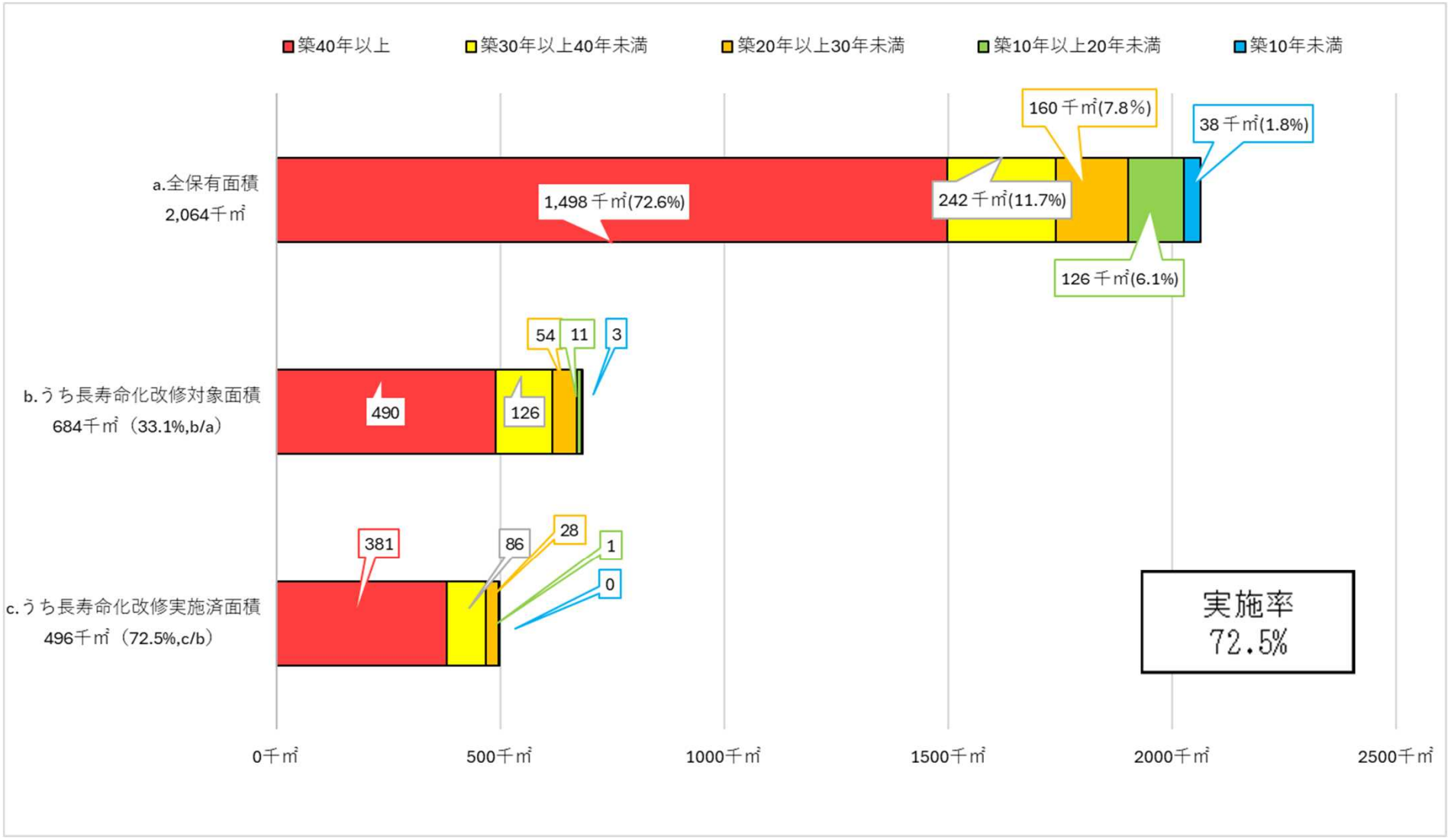


Ⅱ　県立学校の施設整備

②経年別保有面積及び長寿命化改修状況　（令和８年９月１日現在）

□H29年度以降、５年ごとの５カ年実施計画を策定し、長寿命化改修を実施

□実施計画第Ⅰ期(H29～R3)実績、第Ⅱ期(R4～8)計画の対象面積は全体の約３割、うち実施済約７割



Ⅱ　県立学校の施設整備

③県立学校施設の整備費

□学校施設は防災拠点としての役割も果たすため、安全・安心な施設環境確保が必要
□近年では、長寿命化改修に加えて、学校新増築や空調整備を重点的に実施

【整備費の推移】　（単位：百万円）

		R5決算	R6決算	R7決算	R8予算		
					現年	繰越	計
高等学校整備費		6,344	6,804	8,209	6,107	4,054	10,161
特別支援学校整備費		3,602	6,071	6,033	9,056	3,995	13,051
計		**9,946**	**12,875**	**14,242**	**15,163**	**8,049**	**23,212**
内訳	学校新増築	2,616	5,152	5,301	7,830	3,208	11,038
	長寿命化改修 ※トイレ改修含む	4,283	2,579	3,312	4,000	2,876	6,876
	空調整備	904	1,368	1,711	1,450	621	2,071
	エレベーター整備	131	149	118	202	41	243
	緊急修繕・環境整備	1,476	1,348	1,315	1,095	759	1,854
	講義棟・人工芝整備	28	887	1,259	0	544	544
	その他の整備	508	1,392	1,226	586	0	586

Ⅱ　県立学校の施設整備

(2) 県立学校施設の老朽化対策

耐震経過年数や建築年数の古い順に施設の老朽化対策（長寿命化改修、トイレ改修）を計画的に実施
□H29.3 第Ⅰ期県立学校施設管理実施計画策定［計画期間：H29～R3］
□R4.3　第Ⅱ期県立学校施設管理実施計画策定［計画期間：R4～8］

【改修内容】〇：実施　　△：必要に応じて実施

	耐久性の向上			機能・性能・安全性の維持		
	外装（外壁・屋上等）	設備関係		トイレ	内装	空調・エレベーター等
		重要	一般			
普通教室棟	〇	〇	△	〇	△	―
特別教室棟	〇	〇	△	△	△	〇
その他建物	△	△	△	△	△	―
主な改修内容	躯体改修、外壁塗装、屋上防水等	消防設備、受変電設備等	給排水・電気・ガス設備等	便器洋式化、床乾式化等	建具、床、壁、天井等	特別教室５室新設、エレベーター改修等

【事　業　費】Ⅰ期・Ⅱ期比較

			Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅰ・Ⅱ期
			実施状況（A）	実施状況（B）	合計（A＋B）
老朽化対策（a＋b）		**所　要　額**	**175億円**	**200億円**	**375億円**
内訳	長寿命化改修（a）	所　要　額	65億円	180億円	245億円
		学　校　数	12校	37校	49校
	トイレ改修（b）	所　要　額	110億円	20億円	130億円
		学　校　数	134校	20校	154校

Ⅱ　県立学校の施設整備

①長寿命化改修

【実施校数】

区　分	Ⅰ期(H29～R3)	Ⅱ期(R4～8)	Ⅰ期・Ⅱ期計
	実施状況（A）	実施状況（B）	実施状況計（A＋B）
高等学校	12校	32校	44校
特別支援学校	―	5校	5校
計	**12校**	**37校**	**49校**

【実施状況】

□第Ⅰ期実施計画(H29～R3)

ア　実施校　12校（加古川南など）

イ　改修内容　・耐久性の向上　外壁塗装、屋上防水、必要に応じて電気・水道・ガスの設備・配管の更新

・機能・性能の向上（快適性の向上）　トイレの洋式化、床の乾式化　等

□第Ⅱ期実施計画(R4～8)

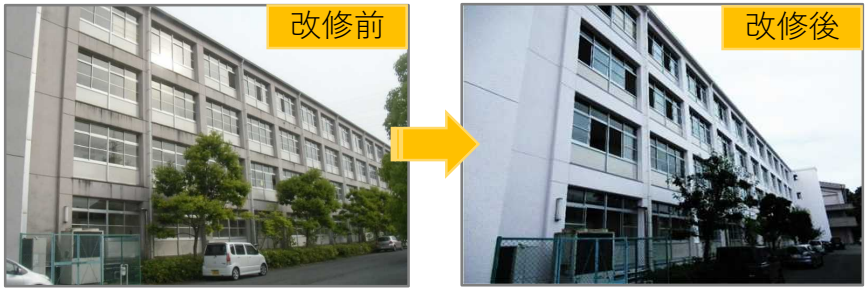
ア　実施校　R4～7実績　30校（神戸鈴蘭台など）※工事着手ベース

R8実施　7校（須磨東、阪神昆陽、加古川北、但馬農業、和田山、明石南、上野ケ原特支）

イ　改修内容　・耐久性の向上　外壁塗装、屋上防水、必要に応じて電気・水道・ガスの設備・配管の更新　等

・機能・性能の向上（快適性の向上）　トイレの洋式化、床の乾式化、特別教室５室への空調整備、エレベーター改修　等

【改修事例写真】



外壁塗装



屋上防水

Ⅱ　県立学校の施設整備

②トイレ改修

□平成29年度からトイレ改修を実施し、普通教室棟においては令和５年度に完了
□以降、長寿命化改修等の大規模工事の中で学校の状況に応じて整備を実施

【実績（普通教室棟）】

区　分		学校数
トイレ改修（普通教室棟）実　施　校	高等学校	129校
	特別支援学校	25校
	計	**154校**

【洋式化率（全棟）】　（令和８年８月末現在）

区　分		総数（A）	整備済（B）	未整備（C）	整備率（B／A）
トイレの洋式化（基数）	高等学校	11,154	7,760	3,394	69.5%
	特別支援学校	1,474	1,365	109	92.6%
	計	**12,628**	**9,125**	**3,503**	**72.2%**

【改修事例写真】



便器の洋式化・床の乾式化



手洗いの自動水洗化

Ⅱ　県立学校の施設整備

(3) 県立学校施設の設備整備（令和８年８月末現在）

①エレベーターの設置

□エレベーターが必要な生徒が在籍する高等学校を優先し、年２校程度の整備を順次実施

□R5～10は県立学校環境充実事業（緊急修繕・環境整備の拡充予算）を活用し、年４校程度整備

【整備状況】

区　分	学校数			整備済(D)	未整備(E)	整備率(D/C)	R8実施校(設計着手)
	総数(A)	対象外(B)	対象校C(A-B)				
高等学校	129	0	129	68	61	52.7%	4校　北須磨 星陵 洲本実業 川西明峰
特別支援学校	29	1※1	28	27	1※2	96.4%	
計	**158**	**1**	**157**	**95**	**62**	**60.5%**	

※1 上野ケ原特支は平屋建てのため整備対象外　※2 かこがわ清流特別支援学校はR8整備

②校舎等の緊急修繕・環境整備

□児童生徒等の安全確保、施設の維持保全、環境対策の確保等の観点から、緊急性の高い順に必要な修繕工事を実施

【R7修繕工事実施状況】　（単位：百万円）

区　分		件数	決算額
法令点検等で不十分（指摘・推奨）とされたもの	（例）消防設備改修、電気設備改修　等	67	107
老朽化等によるもの	（例）漏水修繕、設備機器更新　等	264	598
近隣住民、地域に影響（苦情）を及ぼすもの	（例）防球フェンス修繕、樹木の伐採　等	53	65
躯体に影響を及ぼすもの	（例）屋上防水、外壁改修　等	52	112
授業等において不都合が生じているもの	（例）教室等床改修、教室転用　等	126	308
小規模な災害復旧・修繕等	（例）小規模な災害復旧、その他修繕	17	6
各校判断ですみやかに対応できるよう年度当初に予算令達したもの		―	119
合　計		**579**	**1,315**

Ⅱ　県立学校の施設整備

③教室の空調整備（普通教室・特別教室・選択教室）

ア　普通教室の空調は整備済（H30完了）

イ　特別教室（優先５教室※）への空調整備をR1～順次実施中［計画期間：R1～10］

R1：特別支援学校への整備完了

R2～10：高等学校への整備実施中　▸ **R8に前倒し完了見込**

※夏場でも窓を閉め切って授業を行う必要のある音楽室、書道室、美術室、室内温度が高くなる調理室、学科ごとの優先教室

【特別教室空調設置状況】

区　分	総　数（A）	整備済（B）	未整備（C）	整備率（B／A）	R8実施校
高等学校	4,801	2,793	2,008	58.1%	津名高校など８校（音楽室等５教室）
うち５教室	649	575	74	88.5%	
特別支援学校	675	622	53	92.1%	
うち５教室	171	171	0	100.0%	
計	**5,476**	**3,415**	**2,061**	**62.3%**	

【設置事例写真】

音楽室▶



調理室▶



ウ　選択教室の空調整備を計画的に推進［計画期間：R5～10］

【選択教室空調設置状況】（単位：室）

区　分	令和７年度末時点			年次計画						
	総数	整備済	未整備	R5	R6	R7	R8	R9	R10	計
高等学校	992	830	162	122	108	113	71	68	23	505
特別支援学校	49	49	0	5	0	0	0	0	0	5
計	**1,041**	**879**	**162**	**127**	**108**	**113**	**71**	**68**	**23**	**510**

選択教室▼



Ⅱ　県立学校の施設整備

④体育館の空調整備

ア　R5～7の取組

南海トラフ地震への対応を優先し、避難所に指定されている体育館から順次整備

□整備対象

〔当初３カ年計画〕高等学校43校※1、特別支援学校9校　計52校

〔R7.9月補正追加〕高等学校6校※2、特別支援学校1校　計7校※3

※１　政令市３校、中核市各２校、その他市町(32市町)各１校

※２　政令市２校、中核市各１校　　※３トイレ改修をあわせて実施

イ　R8以降の取組

近年の猛暑の深刻化とともに、避難所指定のない体育館についても空調整備のニーズが高まり、特に、体調管理の難しい児童生徒が在籍する特別支援学校を優先的に整備

□避難所指定のある体育館への整備継続　高校11校（トイレ改修をあわせて実施）

□避難所指定のない体育館への新規整備　特別支援学校3校（トイレ改修をあわせて実施）

□R5～7で空調整備した体育館のトイレ改修　高校8校、特別支援学校9校

【設置状況】（単位：校）

避難所指定	校種	整備対象校	R5～7整備済	R8計画	整備累計(R9.3見込)	整備率(R9.3見込)
指定あり	高校	105	49	11	60	57.1%
	特支	10	10	―	10	100.0%
	計	**115**	**59**	**11**	**70**	**60.9%**
指定なし	高校	16	―	―	0	0.0%
	特支	9	―	3	3	33.3%
	計	**25**	**0**	**3**	**3**	**12.0%**
合計	高校	121	49	11	60	49.6%
	特支	19	10	3	13	68.4%
	計	**140**	**59**	**14**	**73**	**52.1%**

設置事例▼



ウ　熱中症対策備品整備（令和８年度９月補正）

□暑熱期間が早期化・長期化する中、空調整備の補完的対策として、各校の状況に応じた熱中症対策備品等を整備し、次年度早期からの熱中症対策を推進

【主な整備備品例】スポットクーラー、ミスト扇風機、製氷機、ワンタッチテントなど

Ⅱ　県立学校の施設整備

⑤食堂への空調整備

□現に営業中の食堂へ新規整備
□生徒集会室としても活用（例：放課後の自習スペース、部活動のミーティングや文化部の活動場所、学年集会の開催等）

【R8整備対象】

区分	学校数	実施校
高等学校	29	芦屋、国際、兵庫、須磨東、舞子、神戸高塚、西宮北、西宮南、宝塚東、宝塚西、伊丹北、伊丹西、川西明峰、明石、明石南、明石西、明石清水、加古川北、東播磨、松陽、西脇、香寺、相生、津名、尼崎工業、西脇工業、洲本実業、神戸商業、西宮香風

⑥発展的統合校の特色づくり（講義棟建築など）

□発展的統合に伴い、要望が多い講義棟建築など新しい学習環境の整備を実施

【令和７年度統合校への整備状況】　（令和８年８月末現在）

学校名	整備内容	完成時期	（参考）発展的統合校の対象校	
			統合対象校	校地
北神戸総合	既存講義棟への空調整備	R6.12	神戸北、神戸甲北	神戸甲北
神戸学園都市	講義棟建築	R8. 3	伊川谷、伊川谷北	伊川谷北
西宮苦楽園	講義棟建築	R9.8予定	西宮北、西宮甲山	西宮北
三木総合	講義棟建築	R8. 1	三木北、三木東、吉川	三木東
姫路海稜	講義棟建築	R7. 6	姫路南、網干、家島	姫路南
播磨福崎	講義棟建築	R9.3予定	福崎、夢前	福崎

※学校毎の特色等を踏まえた整備をあわせて実施
・北神戸総合　天体望遠鏡室の改修（統合校における教育活動の特色の充実）
・姫路海稜　　ウェイトリフティング練習場の整備（家島高校の特色を継承）

三木総合高校講義棟▼



神戸学園都市高校講義棟▼



Ⅱ　県立学校の施設整備

(4) 県立学校施設の教育環境の充実

ひょうごの未来を担う高校生等の部活動等応援事業〔令和５～７年度〕

ア　備品等整備〔令和５～７年度〕

生徒等からの意見聴取により授業や部活動で使用する用具・備品、各校の状況・特色に応じた整備を集中的に実施

【実績額】885百万円（３年総額）

区分	主な整備内容
全校統一	球技用ボール、サッカーゴール、バレーボール支柱、卓球台　等
各校判断	ロッカー、シューズロッカー、楽器、図書室備品、ピッチングマシン　等

イ　グラウンドの芝生化モデル整備〔令和６～７年度〕

部活動等を行う生徒から要望がある学校グラウンドの人工芝生化をモデル的に整備

人工芝グラウンドの地下に雨水を貯め、蒸発冷却により気温上昇を抑制するなど、ＳＤＧｓに配慮した整備を実施

【実施校】

令和６年度：社高校、星陵高校

令和７年度：伊丹北高校

【実績額】

556百万円

伊丹北高校グラウンド▶

（R7整備）



県立学校環境魅力アップ応援事業〔令和８年度～〕

ア　備品等整備〔令和８年度〕

生徒が充実した学校生活を送ることができるよう、生徒目線で各校の魅力アップにつながる環境整備を実施

【予算額】300百万円

※１校平均：高校2,073千円、特別支援635千円

整備区分	主な整備内容
授業環境の充実	教室机椅子、プロジェクター、電子黒板、黒板ホワイトボード化、グランド・テニスコート整備　等
部活動環境の充実	防球ネット、トレーニング機器、柔道畳　等
校内環境の充実	食堂等テーブル椅子、下駄箱、駐輪場整備 等
学校行事の充実	音響設備、体育館プロジェクター、パイプ椅子、デジタルカメラ　等
学習環境の充実	図書室備品整備（PC・机椅子）、自習スペース整備　等



中庭テーブル・椅子



トレーニング機器整備

Ⅱ　県立学校の施設整備

(5) 県立学校環境充実応援プロジェクト〔平成28年度～〕

教育の一層の活性化を図るため、ふるさとひょうご寄附金を活用し、特色ある取組みへの支援、部活動への支援、教育関連の設備機器等導入を推進。

【寄附実績】

令和７年度		令和８年度（9月末現在）		寄附金額累計
学校数	寄附金額	学校数	寄附金額	
69校	116,042千円	41校	70,895千円	903,144千円

【事業実施状況】

年度	実施校数	実績額	実施内容（主なもの）
R８ (9月末現在)	５校	3,581千円	北はりま特別支援学校　陶芸用大型電気釜購入（1,293千円） 西宮南高等学校　選択教室プロジェクター設置（1,397千円） 兵庫高等学校　国際活動支援（ベトナム研修）（360千円）
R７	33校	38,556千円	姫路東高等学校　プロジェクター等設置（2,662千円） 芦屋特別支援学校　遊び場用組立式プール購入（3,079千円） 加古川西高等学校　ボート部競技用ボート購入（3,513千円） 尼崎北高等学校　水球部大会遠征費補助（246千円） 姫路西高等学校　国際交流事業海外研修費補助（1,000千円）



北はりま特別支援学校
大型電気釜（陶芸用）

Ⅲ　修学支援の充実

(1) 授業料の支援

①　高等学校等就学支援金【新制度】（国庫3/4）

世帯年収に関わらず、県立・市立高等学校等に通う日本人等の生徒を対象として、授業料に充てるための高等学校等就学支援金を支給。（令和８年度から所得制限を撤廃）

区分	対象年度	所得制限	国籍要件	財源
新制度	**令和８年度～**	**なし**	**日本国籍等**	**国3/4・県1/4**
旧制度	～令和７年度	年収約910万円未満	なし	国10/10

※令和７年度は年収910万円以上の世帯生徒に臨時支援金を支給（実質所得制限なし）

対象校種	県立・市立の高等学校、中等教育学校（後期課程）、高等専門学校（1～3年）	
対象者	上記の対象校種に在学し、日本国内に住所を有する者のうち、以下①～⑦のいずれかに該当する者 ①日本国籍を有する者　②特別永住者　③永住者　④日本人の配偶者等　⑤永住者の配偶者等 ⑥定住者のうち将来永住する意思があると認められた者 ⑦家族滞在のうち日本の小学校及び中学校を卒業した者であって、高校等卒業後、日本で就労して定着する意思があると認められた者 ※所得制限なし	
支給額（授業料相当額）	全日制課程：118,800円/年	通信制課程　：310円/単位（年30単位まで）
	定時制課程：　32,400円/年	高等専門学校：234,600円/年

〔支給実績〕

区　　分	R6	R7	R8.9
生徒数(5月1日時点) (A)	94,298人	93,217人	91,366人
支給者数 (B)	75,884人	74,263人	89,703人
支給者比率 (B/A)	80.5%	79.7%	98.2%
支 給 額	8,155,828千円	7,859,933千円	ー

Ⅲ　修学支援の充実

②　高校生等・新修学支援金（国庫3/4）

高等学校等就学支援金【新制度】の対象外となる県立・市立高等学校等に通う外国籍の生徒を対象として、授業料に充てるための支援金を支給。（令和８年度～）

対象校種	県立・市立の高等学校、中等教育学校（後期課程）、高等専門学校（1～3年）		
対象者	R8在校生の外国籍生徒	**年収　約910万円未満**	旧制度の**就学支援金　経過措置**
		年収　約910万円以上	**高校生等・新修学支援金**
	R8新入生の外国籍生徒	**年収　約910万円未満**	**高校生等・新修学支援金**
		年収　約910万円以上	**支給対象外**（授業料を納付）
支給額(授業料相当額)	全日制課程：118,800円/年		通信制課程　：310円/単位（年30単位まで）
	定時制課程：　32,400円/年		高等専門学校：234,600円/年

〔支給実績〕

区　　分	R8.9
生徒数(5月1日時点) (A)	91,366人
支給者数 (B)	43人
支給者比率 (B/A)	0.047%
支 給 額	―

Ⅲ　修学支援の充実

(2) 授業料以外の教育費の支援

①　高校生等奨学給付金（国庫1/2）

授業料以外の教育費負担を軽減するため、国公立の高等学校等に通学する中低所得世帯の生徒に対して、高校生等奨学給付金を支給。

令和８年度以降、高等学校等就学支援金【新制度】が該当しない外国籍の生徒は、旧制度が適用される。

対象者		年間支給額 R7（旧制度）	年間支給額 R8（新制度）	支給の考え方
生活保護世帯	全・定・通	32,300円	32,300円	修学旅行費相当額 （学用品費等は生活保護で支給）
年収270万円未満程度の世帯 （住民税非課税世帯）	全・定	143,700円	143,700円	教科書費、教材費、学用品費、校外活動費、通学用品費相当額、生徒会費、入学用品費相当額、オンライン通信費
	通・専	50,500円	50,500円	
年収270～380万円未満世帯	全・定	―	47,900円	
	通	―	16,830円	
	専	10,100円	16,830円	
年収380～490万円未満世帯	全・定	―	35,930円	
	通	―	12,630円	
多子世帯かつ 年収380～600万円未満世帯	専	10,100円	12,630円	

〔支給実績〕

区　　分	R6	R7	R8.9
生徒数(5月1日時点) (A)	94,448人	93,362人	91,503人
支給者数 (B)	9,587人	8,080人	10,295人
支給者比率 (B/A)	10.2%	8.7%	11.3%
支 給 額	1,063,399千円	1,046,424千円	―

Ⅲ　修学支援の充実

②　特別支援学校等児童生徒就学奨励費（国庫1/2）

障害のある幼児児童生徒の保護者が負担する教育関係経費について、家庭の経済状況等負担能力の程度（支弁区分）に応じ、就学奨励費を支給。

対象者	県立・市立の特別支援学校で学ぶ障害のある幼児児童生徒
保護者収入区分（支弁区分）	・Ⅰ区分　前年所得が生活保護基準の1.5倍未満 ・Ⅱ区分　前年所得が生活保護基準の1.5倍～2.5倍未満 ・Ⅲ区分　前年所得が生活保護基準の2.5倍以上
対象となる経費	教科用図書購入費、学校給食費、通学に要する交通費、寄宿舎居住に伴う経費、修学旅行費、学用品・通学用品購入費、新入学児童生徒学用品・通学用品購入費、オンライン学習通信費、付添人経費　　等
補助率	対象経費ごとに全額または１/２（一部限度額あり）

〔支給実績〕

区分			R6	R7	R8.9
支給人数	特別支援学校	幼稚部	38人	38人	36人
		小学部	1,731人	1,853人	1,946人
		中学部	1,501人	1,520人	1,464人
		高等部	2,858人	2,919人	2,836人
	計		6,128人	6,330人	6,282人
支給額			630,922千円	631,093千円	―

※市町立の小中学校特別支援学級については、市町教育委員会から支給。

Ⅲ　修学支援の充実

(3)（公財）兵庫県高等学校教育振興会奨学資金への補助

経済的理由により修学困難な高校生等の教育機会を確保するため、（公財）兵庫県高等学校教育振興会に対して経費を補助し、奨学資金の貸与事業を実施。

①　高等学校奨学資金の貸与（H14～H18までは県が直接貸与。H19～は教育振興会が貸与）

ア　奨学資金

対象者	国公立・私立の高校、高等専門学校の生徒			
貸与要件	主たる生計維持者の年収が**約680万円以下**(4人世帯)			
[貸与総額] 貸与月額	国公立･自宅	国公立･自宅外	私立･自宅	私立･自宅外
	[648,000円] 18,000円/月	[828,000円] 23,000円/月	[1,080,000円] 30,000円/月	[1,260,000円] 35,000円/月

〔貸与実績〕

区　　分		R6	R7	R8.9
貸与者数 （うち新規者数）	国公立	1,055人（405人）	1,060人（364人）	1,061人（390人）
	私　立	1,614人（570人）	1,550人（571人）	1,481人（498人）
	計	2,669人（975人）	2,610人（935人）	2,542人（888人）
全生徒に対する 貸与者の割合	国公立	1.1％	1.1％	1.1％
	私　立	4.3％	4.2％	3.9％
	計	2.0％	2.0％	1.9％
貸与額		855,080千円	831,385千円	433,564千円

Ⅲ　修学支援の充実

イ　通学交通費

対象者	奨学資金貸与者のうち、１か月あたりの通学定期券購入額が10,000円以上の者
貸与月額	5,000円～45,000円/月（定期券の額により変動）

ウ　電動アシスト自転車購入費

対象者	奨学資金貸与者のうち、通学のための電動アシスト自転車の購入者
貸与月額	100,000円（定額）

エ　タブレット端末等購入費

対象者	奨学資金貸与者のうち、学習のためのタブレット端末等を購入または賃借する者
貸与月額	90,000円（定額）

〔貸与実績〕

区分		R6	R7	R8.9
通学交通費	国公立	12人	10人	8人
	私　立	50人	38人	38人
	計	62人	48人	46人
	貸与額	5,515千円	5,015千円	2,910千円
電動アシスト自転車	国公立	3人	3人	4人
	私　立	0人	17人	5人
	計	3人	20人	9人
	貸与額	300千円	2,000千円	900千円
タブレット端末	国公立	231人	206人	255人
	私　立	227人	237人	246人
	計	458人	443人	501人
	貸与額	41,220千円	39,870千円	45,090千円

Ⅲ　修学支援の充実

②　勤労生徒奨学資金の貸与（～H24までは県が直接貸与。H25～は教育振興会が貸与）

対象者	国公立・私立の定時制・通信制高校に在籍しており、 経常的に収入を得る職業に就いている者
貸与要件	本人所得ベース**279万円以下**
［貸与総額］ 貸与月額	［３年間：504,000円、 ４年間：672,000円］ 14,000円/月

〔貸与実績〕

区　　分		R6	R7	R8.9
貸与者数	国公立	10人	17人	10人
	私　立	0人	0人	1人
	計	10人	17人	11人
貸与額		1,652千円	2,786千円	882千円

Ⅲ　修学支援の充実

③　奨学資金の返還

〔高等学校奨学資金〕

	国公立・自宅	国公立・自宅外	私立・自宅	私立・自宅外
[貸与総額] 貸与月額	[648,000円] 18,000円/月	[828,000円] 23,000円/月	[1,080,000円] 30,000円/月	[1,260,000円] 35,000円/月
返還月額 （月額最低金額）	5,840円/月	6,670円/月	7,500円/月	8,340円/月
返還回数 （年　数）	111回 （9年3か月）	125回 （10年5か月）	144回 （12年）	152回 （12年8か月）
返還猶予要件	①在学中　②り災　③病気療養中　④生活保護受給中 ⑤産休・育休中　⑥求職中　⑦入学準備中　⑧経済的理由			
返還猶予期間	最長10年			
返還免除要件	①本人死亡　②本人重度障害			

〔勤労生徒奨学資金〕

[貸与総額] 貸与月額	[３年間：504,000円、４年間：672,000円] 14,000円/月
返還月額	14,000円/月
返還猶予要件	①在学　②求職中　③病気療養中　④産休・育休中
返還猶予期間	最長10年
返還免除要件	①卒業、②高等学校卒業程度認定試験合格、 ③本人死亡、④本人重度障害

Ⅲ　修学支援の充実

(4)　奨学資金に係る債権の適切な管理（県貸与分）

（公財）兵庫県高等学校教育振興会に対して、県貸与分である高等学校奨学資金(H14～18年度)、勤労生徒奨学資金(～H24年度)及び地域改善対策奨学資金(S57～H13年度)の回収を委託し、債権管理を実施。

【債権回収に係る主な取組】

・平成25年度～

高等学校奨学資金及び地域改善対策奨学資金の返還業務について、過年度滞納債権のうち一定期間納付実績のない**指導困難債権について**、回収率の向上を図るため、**債権回収会社へ業務委託**。

・令和２年度～

返還者の利便性向上のため、**コンビニ収納を導入**。また、返還意識の醸成を図るため、高等学校奨学資金の返還対象者に対して、返還残高等を記載した**債権残高通知を送付**。

・令和３年度～

債権回収会社に長期間委託しても回収できない債権について、**弁護士名で督促状を発出**。

〔債権管理会社委託債権の回収状況（令和7年度）〕

区 分	委託状況		回収状況	
	人数	金額	人数【うち完済】	金額【うち完済】
高等学校奨学資金	291人	132,275千円	156人【28人】	14,630千円【3,066千円】
勤労生徒奨学資金	7人	1,360千円	6人　【4人】	709千円【625千円】
地域改善対策奨学資金	396人	331,092千円	155人【36人】	23,031千円【10,815千円】
計	694人	464,727千円	317人【68人】	38,370千円【14,506千円】

Ⅲ　修学支援の充実

〔奨学資金の返還状況〕

（単位：千円）

区　分		高等学校奨学資金		勤労生徒奨学資金		地域改善対策奨学資金		計	
		R6	R7	R6	R7	R6	R7	R6	R7
現年分	調定額	21,949	11,346	0	0	20,179	7,305	42,128	18,651
	収入済額	19,346	10,115	0	0	12,402	4,982	31,748	15,097
	回収率	88.1%	89.2%	－	－	61.5%	68.2%	75.4%	80.9%
繰越分	調定額	178,984	151,889	1,380	1,380	605,604	557,172	785,968	710,441
	収入済額	28,998	19,282	0	709	43,599	44,777	72,597	64,768
	回収率	16.2%	12.7%	0.0%	51.4%	7.2%	8.0%	9.2%	9.1%
計	調定額	200,933	163,235	1,380	1,380	625,783	564,477	828,096	729,092
	収入済額	48,344	29,397	0	709	56,001	49,759	104,345	79,865
	回収率	24.1%	18.0%	0.0%	51.4%	8.9%	8.8%	12.6%	11.0%

調定額：返還の免除又は猶予を受けた者を除く返還予定額

〔期末債権残高〕

（単位：人、千円）

区　分	高等学校奨学資金		勤労生徒奨学資金		地域改善対策奨学資金		計	
	R6	R7	R6	R7	R6	R7	R6	R7
人　数	658	558	8	3	945	841	1,611	1,402
期末債権残高	184,144	153,623	1,380	651	575,396	509,348	760,920	663,622

兵庫県